

話し合いのしかたを考えよう(話すこと・聞くこと⑤)

年	組	番	氏名
---	---	---	----

田中さんの学校の美化委員会が、「自分たちの使う通学路をきれいにするために、どのようなことができるか」という話し合いを行いました。次は、話し合いの様子の一部と、記録係が発言などをまとめた板書の一部です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

山田(司会) く議題についての説明く

今日の議題は、「自分たちの使う通学路をきれいにするために、どのようなことができるか」です。私たちが毎日使っている通学路に、空きカンやゴミが落ちていることがよくあります。私たちにできることを実行するために、話し合いをして決めていきます。

川口 全クラスに美化委員がいるので、美化委員会が中心となって、ゴミ拾い当番を決めて、通学路のそうじをするようにしたらよいと思います。

田中 ① みんなが通る道なので、美化委員だけでなく、全校の児童に働きかけて、月に一度、通学路のゴミ拾い活動をしてはどうですか。そうすることで、全校の児童が、ゴミに対する意識をもち、ゴミを捨てないようになると思います。

石井 いいですね。でも、全校の児童で、いつ、どのように活動したらよいでしょうか。

木島 朝、全校の児童が登校する時にゴミを拾いながら学校に来て、美化委員会が昇降口で回収するというのはどうですか。

大野 登校する時では、時間が足りないと思います。しっかり拾うためにも、地域のゴミ拾い運動に参加するとか、家族と散歩しながらゴミ拾いをしてもらうというのはどうでしょう。

青木 なるほど。地域や家族の人といっしょなら、たくさん拾うことができるし、意識も高まりそうです。

山田(司会) これまでの意見をまとめると、全校児童が自分の地域や家の人と協力して、家の近くのゴミ拾いをする、ということになります。

大野 私たちだけがゴミを拾うのでは、その時しかきれいになりません。いつもきれいな道にしていくためには、ゴミを捨てないことです。そのために、町のみんなに、ゴミを捨てないように呼びかけ、ゴミに対する意識をもってもらうことも必要だと思います。

山田（司会）今の意見について、具体的に美化委員会としてできることは何か、意見をお願いします。

石井 私たち小学生に呼びかけることは、校内放送や委員会新聞などでできると思います。しかし、中・高校生や大人たちに呼びかけることは、難しいと思います。

川口 ゴミが多く落ちている場所に、呼びかけのポスターを作ってはっておいてはどうでしょうか。そうすれば、地域の人への呼びかけになると思います。

木島 公民館や自治会館の掲示板にポスターをはることもできます。

青木 地域の回覧板に、チラシを入れてもらうこともできます。そのチラシに、ゴミが多く落ちている場所を示して、地域の人たちに呼びかけることもできると思います。

田中 学校や市役所のホームページなどでポスターをしようかいてもらうと、もっと多くの人に呼びかけられると思いますが、どうですか。

～（話し合いが続く）～

【記録係がまとめた板書の一部】

【議題】通学路をきれいにするために、取り組むことを決めよう。

◎ゴミ拾いをする

〈川口〉全クラスの美化委員が当番を決めて、通学路のゴミを拾う。

〈田中〉

A

〈木島〉登校時に全校児童でゴミ拾いをして、昇降口で美化委員が回収する。

〈大野〉地域のゴミ拾い運動や家族と散歩するときにゴミ拾いをする。

◎

B

・ゴミが多く落ちている場所にポスターをはる。

・公民館や自治会館にポスターをはる。

・チラシを地域の回覧板で回す。

・学校や市役所のホームページでポスターをしようかいてもらう

～（まとめた内容が続く）～

(1) 記録係が、――部①の田中さんの発言の内容を A にまとめました。『』ので(理由)、^{がよい}(意見)。「』という形でまとめると、どうなりますか。一文で書きましょう。

がよい。
のび。

(2) この話し合いでは、大きく二つの内容について話し合われています。一つ目は、「◎ゴミ拾いをする」ことです。二つ目の B にはあてはまる言葉を、「◎地域の人に」につなげるように書きましょう。

◎地域の人に

--

(3) 次の C の文章は、田中さんと大野さんの意見に共通する点を整理したものです。 C に入るふさわしい内容を、二十字以内でまとめて書きましょう。

田中さんは、ゴミ拾い活動について、大野さんはより多くの人に呼びかけることについて提案していますが、二人の意見の中で共通するところは、 C ということです。

【解答】話し合いのしかたを考えよう(話すこと・聞くこと)⑤

年

組

番

氏名

田中さんの学校の美化委員会が、「自分たちの使う通学路をきれいにするために、どのようなことができるか」という話し合いを行いました。次は、話し合いの様子の一部と、記録係が発言などをまとめた板書の一部です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

山田(司会) く議題についての説明く

今日の議題は、「自分たちの使う通学路をきれいにするために、どのようなことができるか」です。私たちが毎日使っている通学路に、空きカンやゴミが落ちていることがよくあります。私たちにできることを実行するために、話し合いをして決めていきます。

川口 全クラスに美化委員がいるので、美化委員会が中心となって、ゴミ拾い当番を決めて、通学路のそうじをするようにしたらよいと思います。

田中 ① みんなが通る道なので、美化委員だけでなく、全校の児童に働きかけて、月に一度、通学路のゴミ拾い活動をしてはどうですか。そうすることで、全校の児童が、ゴミに対する意識をもち、ゴミを捨てないようになると思います。

石井 いいですね。でも、全校の児童で、いつ、どのように活動したらよいでしょうか。

木島 朝、全校の児童が登校する時にゴミを拾いながら学校に来て、美化委員会が昇降口で回収するというのはどうですか。

大野 登校する時では、時間が足りないと思います。しっかり拾うためにも地域のゴミ拾い運動に参加するとか、家族と散歩しながらゴミ拾いをしてもらうというのはどうでしょう。

青木 なるほど。地域や家族の人といっしょなら、たくさん拾うことができるし、意識も高まりそうです。

問二 解答のポイント

山田(司会) これまでの意見をまとめると、全校児童が自分の地域や家の人と協力して、家の近くのゴミ拾いをする、ということになります。

問三 解答のポイント

大野 私たちだけがゴミを拾うのでは、その時しかきれいになりません。いつもきれいな道にしていくためには、ゴミを捨てないことです。そのために、町の人みんなに、ゴミを捨てないように呼びかけ、ゴミに対する意識をもってもらうことも必要だと思います。

山田（司会）今の意見について、具体的に美化委員会としてできることは何か、意見をお願いします。

石井 私たち小学生に呼びかけることは、校内放送や委員会新聞などでできると思います。しかし、中・高校生や大人たちに呼びかけることは、難しいと思います。

川口 ゴミが多く落ちている場所に、呼びかけのポスターを作ってはっておいてはどうでしょうか。そうすれば、地域の人への呼びかけになると思います。

木島 公民館や自治会館の掲示板にポスターをはることもできます。

青木 地域の回覧板に、チラシを入れてもらうこともできます。そのチラシに、ゴミが多く落ちている場所を示して、地域の人たちに呼びかけることもできると思います。

田中 学校や市役所のホームページなどでポスターをしようかいてもらうと、もっと多くの人に呼びかけられると思いますが、どうですか。

～（話し合いが続く）～

【記録係がまとめた板書の一部】

【議題】通学路をきれいにするために、取り組むことを決めよう。

◎ゴミ拾いをする

〈川口〉全クラスの美化委員が当番を決めて、通学路のゴミを拾う。

〈田中〉

A

〈木島〉登校時に全校児童でゴミ拾いをして、昇降口で美化委員が回収する。

〈大野〉地域のゴミ拾い運動や家族と散歩するときにゴミ拾いをする。

◎

B

・ゴミが多く落ちている場所にポスターをはる。

・公民館や自治会館にポスターをはる。

・チラシを地域の回覧板で回す。

・学校や市役所のホームページでポスターをしようかいてもらう

～（まとめた内容が続く）～

(1) 記録係が、――部①の田中さんの発言の内容をないよう [A] にまとめました。」「ので(理由)、くがよい(意見)。」という形でまとめると、どうなりますか。一文で書きましょう。

みんなが通る道な

ので、

全校の児童が通学路のゴミ拾いをした方

がよい。

(2) この話し合いでは、大きく二つの内容について話し合われています。一つ目は、「◎ゴミ拾いをする」ことです。二つ目の [B] にあてはまる言葉を、「◎地域の人に」につなげるように書きましょう。

◎地域の人に

ゴミを捨てないように呼びかける。

(3) 次の [C] の文章は、田中さんと大野さんの意見に共通する点を整理したものです。
[C] に入るふさわしい内容を、二十字以内でまとめて書きましょう。

田中さんは、ゴミ拾い活動について、大野さんはより多くの人に呼びかけることについて提案していますが、二人の意見の中で共通するところは、 [C] ということです。

っ	ゴ
て	ミ
も	に
ら	対
う	す
	る
	意
	識
	を
	も